

# 環境経済・政策学会

Society for  
Environmental  
Economics and  
EPolicy  
Studies



## 2003年大会 プログラム

2003.9.27-28

東京大学

主催:環境経済・政策学会

# 環境経済・政策学会2003年大会

2003年9月27日(土)～28日(日)

東京大学(本郷)・経済学研究科棟(新・本・別館)

## ★プログラム

会場	27日午前 (9:00～12:30)	27日午後 (13:30～17:00)	28日午前 (9:00～12:30)
第2教室 (新館3階)	A1 地球温暖化問題と その対策(1)	A3 地球温暖化問題と その対策(3)	A5 地球温暖化問題と その対策(5)
第4教室 (新館3階)	A2 地球温暖化問題と その対策(2)	A4 地球温暖化問題と その対策(4)	A6 地球温暖化問題と その対策(6)
第3教室 (新館3階)	B1 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(1)	B3 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(3)	B5 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(5)
第5教室 (新館4階)	B2 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(2)	B4 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(4)	B6 循環型社会・廃棄 物・リサイクル(6)
203 演習室 (新館2階)	C1 環境経営・環境会 計・環境監査(1)	C2 環境経営・環境会 計・環境監査(2)	C3 環境経営・環境会 計・環境監査(3)
204 演習室 (新館2階)	D1 アジア及び途上国 の環境問題(1)	D2 アジア及び途上国 の環境問題(2)	D3 アジア及び途上国 の環境問題(3)
第8教室 (別館B1階)	E1 エネルギー・資源 と環境(1)	E2 エネルギー・資源 と環境(2)	E3 エネルギー・資源 と環境(3)
第7教室 (別館1階)	F1 環境評価と環境資 源勘定(1)	F2 環境評価と環境資 源勘定(2)	F3 環境評価と環境資 源勘定(3)
第9教室 (別館B1階)	G1 環境保全意識とラ イフスタイル(1)	L1 市民と環境	G2 環境保全意識とラ イフスタイル(2)
7 演習室 (本館1階)	H1 環境リスク	M1 自動車と環境	C4 環境経営・環境公 計・環境監査(4)
8 演習室 (本館1階)	I1 環境政策	N1 経済成長と環境	Q1 貿易と環境
9 演習室 (本館1階)	J1 地域の環境・資源 管理	O1 農林業と環境	R1 国際関係と環境
10 演習室 (本館1階)	K1 地域通貨/公害問 題	P1 環境の経済分析	S1 英語セッション

## ★特別企画

第1教室 (新館B1階)	28日 13:30～17:00 公開シンポジウム「環境税」
-----------------	----------------------------------

## ★その他

第1教室 (新館B1階)	27日 17:30～18:15 学会総会
山上会館	27日 18:30～ 懇親会

**A1 地球温暖化問題とその対策(1) ◆第2教室(新館3階)**

座長:藤目和哉(日本エネルギー経済研究所) 討論者:明日香壽川(東北大学)

- 1 温暖化影響を考慮した発展途上国の温暖化対策への参加に関する分析  
土田研一 アクセンチュア(株) / ○増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 2 済陽市康平県における植林活動とCO<sub>2</sub>吸収量の測定  
○早見 均・和気洋子・吉岡完治・小島朋之 慶應大学
- 3 北東アジアにおける多国間CDMプロジェクトの検討  
○中野 諭・鄭 雨宗・壬 雪洋 慶應大学
- 4 気候変動に関する将来の枠組みの構築に関する議論  
服部 崇 経済産業省
- 5 二酸化炭素排出量と貿易を経山した国際的技術スピルオーバー  
藤川 渉 長崎大学
- 6 温室効果ガス排出権取引における約束期間リザーブ制度の評価  
○草川孝夫・西條辰義 大阪大学

**A2 地球温暖化問題とその対策(2) ◆第4教室(新館3階)**

座長:松岡 譲(京都大学) 討論者:藤原 敬(森林総合研究所)

- 1 経済効果とCO<sub>2</sub>排出の地域差についての考察  
長谷川良二 神戸大学
- 2 アジア太平洋地域における地球温暖化影響の地理的相違に関する分析  
○宗健太郎 東京工業大学 / 高橋 潔・増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 3 環境損害概念の多元化と地球環境保護  
岡松暁子 国立環境研究所
- 4 Web-GISの活用による住民を主人公とした環境情報共有システムの実践と可能性  
○藤山 浩・小村あかね 鳥根県中山間地域研究センター
- 5 温室効果ガスインベントリーにおける異なる木製品の炭素勘定方法の政策インプリケーション  
○橋本征二・森口祐一 国立環境研究所 / 外崎真理雄・恒次祐子 森林総合研究所

**B1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(1) ◆第3教室(新館3階)**

座長:吉田文和(北海道大学) 討論者:寺園 淳(国立環境研究所)

- 1 デポジット制度における抵抗緩和策の経済分析  
沼田大輔 神戸大学
- 2 建築寿命の予測と最終処分場消費への動学的影響分析  
横山一代 早稲田大学
- 3 摂取量段階でのPCB廃棄物処理事業の費用効率性評価  
○平井康宏・酒井伸一 国立環境研究所
- 4 耐久消費財のリユース市場活性化に伴う環境と経済への波及効果に関する研究  
○宮下真穂 (株)富士総合研究所 / 増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 5 リユース部品の活用による製品補修体制の効率化の効果  
○山本祐吾・盛岡 通・恒見清孝・山崎裕貴・Sergio Jofre 大阪大学

**B2 循環型社会・廃棄物・リサイクル(2) ◆第5教室(新館4階)**

座長:柴田 弘文(関東学園大学) 討論者:森 俊介(東京理科大学)

- 1 わが国の食品廃棄物の循環促進による経済的影響評価  
○河瀬玲奈 京都大学 / 増井利彦 国立環境研究所 / 松岡 譲 京都大学
- 2 乗用車の長期使用による環境と経済への影響分析  
○加河茂美・川崎智宏・森口祐一 国立環境研究所
- 3 廃棄物産業連関線形計画モデルと価格モデル:「最適な」廃棄物管理策と費用  
○近藤康之・中村慎一郎 早稲田大学
- 4 消費者による廃棄物分別努力と最適な税・補助金政策  
黒川哲治 法政大学
- 5 廃棄物の広域移動と原状回復費用負担ルール  
福山博文 九州大学

## C1 環境経営・環境会計・環境監査(1) ◆203演習室(新館2階)

座長:村井秀樹(日本大学) 討論者:梨岡英理子(地球環境戦略研究機関)

- 1 環境報告書に対する利用者ニーズの研究  
平山健次郎 (財)地球環境戦略研究機関
- 2 環境報告書のバランススコアカードによる分析  
○上田昌史 関西大学/酒井徹朗 京都大学
- 3 環境報告書の発行要因と環境省ガイドラインの影響の分析  
○有村俊秀・大河内健・深田俊介 上智大学/國部克彦 神戸大学/平山健次郎 (財)地球環境戦略研究機関
- 4 環境自治体スタンダード(LAS-E)による自治体マネジメントに関する検討  
山本芳華 京都大学

## D1 アジア及び途上国の環境問題(1) ◆204演習室(新館2階)

座長:藤倉 良(法政大学) 討論者:野上裕生(アジア経済研究所)

- 1 日本の環境センター・アプローチと途上国の社会的環境管理能力の形成  
松岡俊二 広島大学
- 2 アジア太平洋の都市における環境面から見た持続可能な交通(EST)のあり方に関するシナリオ研究  
松本奈穂子 (財)地球環境戦略研究機関
- 3 東欧に対するEUならびに日本の国際環境協力の比較考察  
田中研一 国際協力事業団
- 4 生物資源利用の公平性—協力ゲームによるアプローチ—  
渡辺幹彦 日本総合研究所
- 5 中国の自動車産業政策と環境政策  
○張 艶芳・劉 庭秀 東北大学

## E1 エネルギー・資源と環境(1) ◆第8教室(別館B1階)

座長:酒井伸一(国立環境研究所) 討論者:浜本光紹(獨協大学)

- 1 固定価格制度とRPS(再生可能エネルギー割当基準)に関する一考察—環境政策手段分析による再生可能エネルギー制度設計研究  
朝野賢司 京都大学
- 2 世帯の住まい方を考慮した燃料電池コージェネレーション・システムの導入評価  
○宮山史子・小笠原 一隆 北海道電力
- 3 化学物質規制の投資誘因への影響  
荒木志奈 慶應大学
- 4 日本のエネルギー関連税と特定財源—課税と用途の統合的グリーン化への模索—  
李 秀徹 名古屋学院大学
- 5 アメリカのNOx排出権取引制度と電力自由化の影響  
金 呈姫 京都大学
- 6 化学物質の環境排出量(PRTRデータ)の生産量・面積・人口・GDPとの比の日米比較  
○大島輝夫・小坂橋真理子 化学品安全管理研究所

## F1 環境評価と環境資源勘定(1) ◆第7教室(別館1階)

座長:寺脇 拓(立命館大学) 討論者:吉田謙太郎(筑波大学)

- 1 環境評価手法と住民審議会の併用による迷惑施設の合意形成に関する研究—廃棄物処理施設の設置計画を事例として—  
○笹尾俊明 岩手大学/柘植隆宏 高崎経済大学
- 2 便益移転可能性の判定に関わる統計手法の検討  
○竹下俊一郎・加藤尊秋・肥田野登 東京工業大学
- 3 環境教育の便益の測定  
藤井朋樹 カリフォルニア大学バークレー校
- 4 環境教育効果に関するシミュレーション分析  
○稲垣雅一・林山泰久 東北大学
- 5 大気汚染対策の環境評価:便益移転分析と企業環境会計への応用可能性  
○竹内憲司・國部克彦・大床太郎 神戸大学

## G1 環境保全意識とライフスタイル(1) ◆第9教室(別館B1階)

座長:宮本憲一(滋賀大学) 討論者:青柳みどり(国立環境研究所)

- 1 環境を守るライフスタイル  
○溝口次夫 仏教大学/L. Hylander Uppsala Univ. /C.W. Mcleod Univ. of Sheffield

- 2 短大生の環境意識と成人期の環境学習の有効性  
證 正雄 中央大学
- 3 “環境”ブランドの企業価値への寄与  
○宮武記章・佐々木雅一・加賀川和弘・中尾悠利子・榊井康寛・木下京子・伊東直人 関西学院大学
- 4 水源地での環境保全型農業に対する農業者の意識  
○松本美幸・手塚哲央 京都大学

## H1 環境リスク ◆7演習室(本館1階)

座長:村山武彦(早稲田大学) 討論者:岸本充生(産業技術総合研究所)

- 1 遺伝子組換え作物市場と予防原則  
平木隆之 北海道東海大学
- 2 「予防原則」を巡る最近の国会論議  
小幡雅男 参議院環境委員会調査室
- 3 原子力発電所の事故被害試算  
朴 勝俊 京都産業大学
- 4 リスク特性と確率的生命の価値に関する東アジア比較研究—広島市と上海市を例として—  
○白川博章・松岡俊二・木戸謙介・本田直子 広島大学
- 5 リスク・コミュニケーションに関する「考察」—地域対話と北九州PCB処理事業の比較—  
○野見山里恵・外川健一 九州大学

## I1 環境政策 ◆8演習室(本館1階)

座長:松下和夫(京都大学) 討論者:大森恵子(環境省)

- 1 温暖化対策としての自主協定の評価手法  
山口光恒 慶應大学
- 2 環境保全型生産システムの構築のための条件  
上園昌武 鳥根大学
- 3 ローカル・アジェンダ21の意義と策定・実施における問題点  
原嶋洋平 拓殖大学
- 4 環境政策における自主規制とその分配上の含意  
我妻伸彦 立命館大学
- 5 エコ・エフィシエンシーの経済学的基礎  
倉阪秀史 千葉大学

## J1 地域の環境・資源管理 ◆9演習室(本館1階)

座長:室田 武(同志社大学) 討論者:戸田常一(広島大学)

- 1 コモンズ論からみた水質管理組織—矢水協を事例に—  
太田隆之 京都大学
- 2 河川流域管理の意思決定と環境評価の役割  
白川直樹 東京大学
- 3 CO<sub>2</sub>吸収機能等の適性配置:地域マネジメントシステム(RMS)による環境・地域資源管理に関する研究  
○杉原弘恭・生駒依子 日本政策投資銀行/八城正幸 (株)リジョナル・プランニング・チーム/山下 潤 九州大学
- 4 水道の水源地水質保全を巡る紛争:カナダ・大バンクーバー水道局水源林の事例について  
高橋卓也 滋賀県立大学
- 5 バルト海沿岸地域の地域環境レジーム形成に関する研究  
○青 正澄 共立総合研究所/柳下正治 名古屋大学/高橋若菜 宇都宮大学

## K1 地域通貨/公害問題 ◆10演習室(本館1階)

座長:宇井 純(元沖繩大学) 討論者:加藤敏春(国際大学)

- 1 水俣病の社会科学的研究の成果と課題  
杉浦竜夫 北海道大学
- 2 環境保全活動を支援する地域通貨システムに関する研究  
○城戸幸子・市川 新 福岡大学
- 3 エコロジーと貨幣:フレデリック・ソディの議論を中心に—  
泉 留維 東京大学
- 4 熊本水俣病の被害補償・救済と費用負担  
除本理史 東京経済大学

- 5 大都市圏工業都市における臨海部開発の規定要因  
尾崎寛直 東京大学

---

9月27日(土) 午後の部 <第1部 報告 13:30~15:50> <第2部 総合討論 16:00~17:00>

---

**A3 地球温暖化問題とその対策(3) ◆第2教室(新館3階)**

座長:西條辰義(大阪大学) 討論者:山形与志樹(国立環境研究所)

- 1 炭酸ガス排出権取引市場制度の経済理論的評価とその立証—異時点間取引効果を中心に  
藤日和哉 (財)日本エネルギー経済研究所
- 2 排出権取引の最適設計について  
緒方 隆 九州国際大学
- 3 クリーン開発メカニズムにおける追加性の再考—追加性を引くことで途上国は得をするか—  
○明口香壽川 東北大学/竹内憲司 神戸大学
- 4 カーボンファンドの経験と日本における制度設計への合意  
明日香壽川 東北大学
- 5 CO<sub>2</sub>排出権の取引ルールが市場参加者の行動に与える影響  
○若林雅代・大河原透・所 健一 電力中央研究所

**A4 地球温暖化問題とその対策(4) ◆第4教室(新館3階)**

座長:植田和弘(京都大学) 討論者:諸富 徹(京都大学)

- 1 市場機能の活用による新エネルギーの導入促進政策について  
大森恵子 環境省
- 2 欧州連合(EU)とオランダにおける環境税導入の影響  
豊田 隆 東京農工大学
- 3 日本におけるエネルギー税制改革および炭素税に関する論点について  
○足立治朗 環境・持続社会研究センター/伊藤 康 千葉商科大学
- 4 炭素税が日本経済に及ぼす影響の評価  
○西本裕美・松岡 譲 京都大学/藤野純一 国立環境研究所
- 5 代替技術の導入における日本企業の意味決定要因と国際環境NGOの役割:脱代替フロン冷蔵庫の事例研究  
松本泰子 国立環境研究所
- 6 温暖化対策としての環境税のありかた—既存税制のグリーン化と新規課税の比較分析—  
齊藤有希子 富士通総研

**B3 循環型社会・廃棄物・リサイクル(3) ◆第3教室(新館3階)**

座長:外川健一(九州大学) 討論者:松波淳也(法政大学)

- 1 非鉄金属に関するマテリアルリサイクルの課題—電線のマテリアルリサイクルを中心として—  
勝田 悟 産能大学
- 2 FRP使用済み船舶収集実証実験に基づいた費用分析  
細川衛士 慶応大学
- 3 廃棄物問題と商取引  
小林純子 名城大学
- 4 廃自動車からの鉄リサイクルシステムの評価  
○岡野雅通・盛岡 通・恒見清孝 大阪大学
- 5 自動車リサイクルにおける垂直統合—自動車解体事業を中心に—  
○平岩幸弘・貴 真英 一橋大学

**B4 循環型社会・廃棄物・リサイクル(4) ◆第5教室(新館4階)**

座長:高月 紘(京都大学) 討論者:新熊隆嘉(東京外語大学)

- 1 循環型社会のレジーム・アクター分析  
吉田文和 北海道大学
- 2 持続可能な地域社会のイメージ  
水谷潤太郎 日本上下水道設計(株)
- 3 拡大生産者責任と汚染者負担原則の関係性についての予備的考察  
浅木洋祐 京都大学



- 4 耐久消費財に関する製品長寿命化政策の経済分析  
赤石秀之 法政大学
- 5 リサイクルシステムにおける財の循環と成長  
岩屋将幸 慶應大学

## C2 環境経営・環境会計・環境監査(2) ◆203演習室(新館2階)

座長:國部克彦(神戸大学) 討論者:有村俊秀(上智大学)

- 1 金融市場における企業環境活動への評価に関する計量分析-ISO14001認証に関するケーススタディ-  
○東 将人 日本銀行/日引 聡 国立環境研究所
- 2 持続可能な統合マネジメントとISO14001について  
矢野雅子 (株)KPMG審査登録機構
- 3 ISO14001認証取得と企業規模の分析  
岩田裕樹 京都大学

## D2 アジア及び途上国の環境問題(2) ◆204演習室(新館2階)

座長:寺西俊一(一橋大学) 討論者:森 晶寿(滋賀大学)

- 1 モンゴル国における都市計画および土地利用の特徴と課題  
○フフー・チンバット・劉 庭秀 東北大学
- 2 バンコクにおける一般廃棄物管理の現状と課題-レジーム・アクター分析を応用して-  
佐々木創 北海道大学
- 3 クアラルンプールにおける都市廃棄物問題の分析-民営化政策の評価-  
寺田宣明 立命館大学
- 4 アジア地域における廃棄物管理と資源循環の現状と課題  
○寺園 淳・佐藤裕子・酒井伸一・楊 建新・イナンチブレント・森口祐一 国立環境研究所/鈴木克徳 国連大学
- 5 モンゴル国・ウランバートル市における土壌汚染の実態と問題点  
加茂義明 モンゴル国立大学

## E2 エネルギー・資源と環境(2) ◆第8教室(別館B1階)

座長:花木啓祐(東京大学) 討論者:松橋隆治(東京大学)

- 1 Cooling the Metropolis: How to Alleviate Urban Warming due to Heat Island  
佐藤公敏 立教大学
- 2 環境システムから見た大気中汚染物質の河川への移動に関する一考察  
平塚 彰・栗川 功・○荒木信一 大阪産業大学/石川宗孝 大阪工業大学
- 3 宇宙太陽発電衛星のCO<sub>2</sub>負荷 USEF型SPSシステム  
○朝倉啓一郎 一橋大学/小林裕太郎 無人宇宙実験システム研究開発機構/吉岡完治 慶應大学
- 4 環境規制とイノベーション戦略:化学産業におけるケース  
○鎗日 雅 東京大学
- 5 日本におけるESCO事業の進むべき方向  
青野雅和 (株)ファーストエスコ

## F2 環境評価と環境資源勘定(2) ◆第7教室(別館1階)

座長:薫 祥哲(南山大学) 討論者:加藤尊秋(東京工業大学)

- 1 食の安心と環境意識の経済分析 選択実験における選択外オプションと顕示選好データの影響評価-  
○欠部光保 農林水産政策研究所/アンドレアス・コントレオン ロンドン大学/吉田謙太郎 筑波大学
- 2 環境経済統合勘定による農林業の環境便益と環境負荷の評価  
○林 岳 農林水産政策研究所/山本 充 小樽商科大学/出村克彦 北海道大学/合崎英男 農業工学研究所/三島初仁 農林水産技術会議/國光洋二 農業工学研究所
- 3 選択型コンジョイント分析を用いた異種の環境問題の経済的評価における限界支払意志額の妥当性の解析  
○中谷 華・荒巻俊也・花木啓祐 東京大学
- 4 日本における自動車交通騒音の外部費用の推計  
兒山真也 神戸商科大学

## L1 市民と環境 ◆第9教室(別館B1階)

座長:落合仁司(同志社大学) 討論者:古沢広祐(國學院大学)

- 1 環境NPOと環境政策  
宮永徳太郎 京都大学

- 2 持続的開発におけるDPSEFフレームワークの検討  
○本田直子・松岡俊一 広島大学
- 3 ボランティア労働供給曲線を用いた里山林の経済評価  
○寺脇 拓・村中克夫 立命館大学
- 4 環境NPOが企業活動およびマクロ経済におよぼす潜在的な便益に関する分析  
○根岸正州 (株)野村総合研究所/森田恒幸・増井利彦 国立環境研究所
- 5 消費者受容性の定量化手法の開発・要求項目と重要度の工学的評価による行動の推定  
○小澤寿輔 産業技術総合研究所/川島史江 (株)日経リサーチ/八木田克英  
(株)住環境計画研究所/稲葉 敦 産業技術総合研究所

#### M1 自動車と環境 ◆7演習室(本館1階)

座長:加藤博和(名古屋大学) 討論者:片山博文(桜美林大学)

- 1 自動車排ガス汚染による外部不経済を内部化するために  
羅 栄莉 名城大学
- 2 観光の持続的発展のための受入容量に関する一考察  
○齊藤英智・戸田常一 広島大学
- 3 自動車保有と燃料需要およびNOx排出量の計量分析  
○大原伸介 東京工業大学/H引 聡 国立環境研究所
- 4 環境再生と公共事業  
家木成夫 上武大学
- 5 環境政策としてのロードプライシングの展開とその評価  
吉野貴寛 法政大学

#### N1 経済成長と環境 ◆8演習室(本館1階)

座長:藤川清史(甲南大学) 討論者:倉阪秀史(千葉大学)

- 1 開発途上国における農業利用に関する調査—バングラデシュ・フィリピンを事例として—  
○高田直也・川島博之・大賀圭治 東京大学
- 2 経済成長と環境  
内藤登世 京都学園大学
- 3 自然資源の保全と経済発展の両立に向けた政策の効果に関する分析  
○諏訪幸子 日本工営(株)/増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 4 世界の農業消費の環境クズネット曲線仮説適用による分析  
荒崎克己 岐阜大学
- 5 経済成長と自然資本—1988~2000年におけるタイの事例—  
栗山匠相 一橋大学

#### O1 農林業と環境 ◆9演習室(本館1階)

座長:大賀圭治(東京大学) 討論者:川島博明(東京大学)

- 1 持続的農業の技術論的・経営論的考察—北海道の畜産業を中心に—  
○行方のな・三島徳三 北海道大学
- 2 農業の多面的機能と環境政策  
大堀秀一 京都大学
- 3 森林資源に対する企業の価値意識 「法人の森林制度」に関する企業アンケート調査を通じた一考察  
○高橋信吾・佐藤浩一郎・高木 健 (株)三菱総合研究所
- 4 農業貿易と環境—持続可能性影響評価における緩和政策評価の位置づけ—  
野村久子 マンチェスター大学
- 5 フードマイルズにみる「消費の質(生活の質および環境への影響)」の変化  
根本(鎮日)志保子 一橋大学

#### P1 環境の経済分析 ◆10演習室(本館1階)

座長:室田泰弘(湘南エコノメトリクス) 討論者:伴 金美(大阪大学)

- 1 地方環境税導入のための環境評価利用—神奈川県水源環境税を事例として—  
吉川謙太郎 筑波大学
- 2 Technological Change Reconsidered  
○田村 誠・奥島真一郎 東京大学



- 3 家庭用水の需要曲線の計量分析  
○竹葉直人 東京工業大学/日引 聡 国立環境研究所
- 4 Pollution Reduction Investment and the Timing of Environmental Regulation  
大内川康徳 北九州工業高等専門学校
- 5 A Linkage of Trade/Environmental Policies and the Exchange Rate, Welfare in General Equilibrium Theory  
生原 匠 神戸大学

17:30 - 18:15 学会総会 ◆第1教室(新館B1階)

18:30 - 懇親会 ◆山上会館

## 9月28日(日) 午前の部 <第1部 報告 9:00~11:20> <第2部 総合討論 11:30~12:30>

### A5 地球温暖化問題とその対策(5) ◆第2教室(新館3階)

座長:石見 徹(東京大学) 討論者:大島堅一(立命館大学)

- 1 中国華北地区の発電所から排出するCO<sub>2</sub>削減ポテンシャルの策定  
○藤井 稔 日立エンジニアリング(株)/川口 修・山口光恒 慶應大学
- 2 中国におけるCDMのCO<sub>2</sub>削減コストとポテンシャルに関する研究  
○西村邦幸 (株)三菱総合研究所/山口光恒 慶應大学/藤井 稔 日立エンジニアリング(株)
- 3 Factorize China's energy-related CO<sub>2</sub> emission over the past two decades: from primary energy supply to final energy consumption  
○Libo Wu・Shinji Kaneko・Shunji Matsuoka Hiroshima University
- 4 日中間CDMにおけるモニタリング実施および持続的発展指標(Sustainable Development Indicator)の設計について  
○氏川恵次 横浜国立大学/張 興和・明日香壽川 東北大学/増田正人  
(有)エムフォーユー/高橋礼二郎・大村 泉 東北大学
- 5 カーボン・ファイナンスとCDMプロジェクトの経済性分析  
○増田正人 (有)エムフォーユー/明日香壽川・張 興和 東北大学/氏川恵次  
横浜国立大学/大村 泉・高橋礼二郎 東北大学

### A6 地球温暖化問題とその対策(6) ◆第4教室(新館3階)

座長:大河原透(電力中央研究所) 討論者:高村ゆかり(静岡大学)

- 1 米国地球規模変動研究の気候変動科学プログラムへの移行の一考察  
竹下寿英 麻布大学
- 2 2013年以降の地球温暖化対策としての国際的取り組みに関する論文の傾向に関する分析  
亀山康子 国立環境研究所
- 3 ポスト京都の展望  
新澤秀則 神戸商科大学
- 4 国際間の二酸化炭素排出権取引において各国の政策が与える影響の評価  
○井上佳久・乾口雅弘 大阪大学/田村坦之 関西大学
- 5 国際レジーム形成過程の微分ゲームモデルによる分析—中長期的な陸域炭素管理  
山形与志樹 国立環境研究所

### B5 循環型社会・廃棄物・リサイクル(5) ◆第3教室(新館3階)

座長:山川 肇(京都府立大学) 討論者:山下英俊(東京大学)

- 1 一般廃棄物焼却施設におけるダイオキシン類対策の対策費用の事後評価  
○岸本充生・小倉 勇 産業技術総合研究所
- 2 建築廃棄物問題と住宅政策—離散選択モデルを用いた住宅選好分析からのアプローチ  
佐藤真行 京都大学
- 3 自動車フロン回収・破壊システムの現状と課題  
外川健一 九州大学
- 4 物質フローと廃棄行動の変化に基づく家電リサイクル法の施行影響の把握  
○田崎智宏・寺園 淳・森田祐一 国立環境研究所
- 5 産業廃棄物交換情報制度の課題と改善方案  
○劉 庭秀・重野芳人・中澤重厚・岩崎玲子・大村道明 東北大学

## B6 循環型社会・廃棄物・リサイクル(6) ◆第5教室(新館4階)

座長:細田衛士(慶應大学) 討論者:城山英明(東京大学)

- 1 リサイクル可能廃棄物の中国への越境移動  
○吉田 綾 東京大学/小島道一 アジア経済研究所/山下英俊 東京大学
- 2 WTOルール下における工業製品リサイクル貿易の一考察  
岩田伸人 青山学院大学
- 3 ドイツにおける容器包装廃棄物政策の展開  
喜多川進 山梨大学
- 4 バーゼル条約を批准するまでにかかる期間  
小島道一 アジア経済研究所
- 5 廃棄物処理業者の外国廃棄物処理サービス需要に関する分析  
南部和香 明治大学

## C3 環境経営・環境会計・環境監査(3) ◆203演習室(新館2階)

座長:和気洋子(慶應大学) 討論者:水口 剛(高崎経済大学)

- 1 環境経営と財務経営の相関関係—環境格付けと債務格付けとの多重回帰分析を通じて—  
○謝 双下・早瀬光司 広島大学
- 2 日本企業におけるマテリアルフローコスト会計の展開—日本ペイント、塩野義製薬の事例を中心に—  
○梨岡英理子 (財)地球環境戦略研究機関/中島道靖 関西大学/國部克彦 神戸大学
- 3 環境会計制度の比較分析—EUと日本を中心に—  
川原千明 神戸大学
- 4 わが国におけるエコファンドの現状分析とSRI(社会的責任投資)の可能性  
長谷川直哉 横浜国立大学
- 5 日本企業における環境会計の実務動向と課題  
○國部克彦 神戸大学/梨岡英理子・斎尾浩一郎・幸禮忠美子 (財)地球環境戦略研究機関

## D3 アジア及び途上国の環境問題(3) ◆204演習室(新館2階)

座長:仲上健一(立命館アジア太平洋大学) 討論者:藤野純一(国立環境研究所)

- 1 資源管理に向けての政策統括—中国雲南白馬雪山国家級自然保護区と滇金絲猴の保護の事例から—  
何 大勇 総合研究大学院大学
- 2 中国西部地区の工業汚染と環境対策・政策の実態  
竹歳 一紀 桃山学院大学
- 3 東アジア酸性雨モニタリングネットワークの将来展望に関する考察  
○山下 研・佐藤二郎 酸性雨研究センター
- 4 中国の環境政治経済に対する研究視角  
相川 泰 日本学術振興会
- 5 中国における環境政策実施体制の変容—対中環境協力への示唆—  
大塚健司 アジア経済研究所

## E3 エネルギー・資源と環境(3) ◆第8教室(別館B1階)

座長:新澤秀則(神戸商科大学) 討論者:増井利彦(国立環境研究所)

- 1 Resource Augmenting Technological Progress and Sustainable Development  
○熊本尚雄 一橋大学/細谷 圭 学術振興会
- 2 地域特性を活かしたエネルギーベストミックスの設定  
広松 猛 広島国際大学
- 3 京都議定書とロシアの燃料・エネルギー政策  
明日香壽川 東北大学/○森岡 裕 富山大学
- 4 フルオロカーボン類による環境負荷の定量的評価および国際間の環境保護策の考察  
○花岡達也・松橋隆治・吉田好邦 東京大学
- 5 日本のエネルギー需要:過去100年間の計量経済分析と将来予測  
○宮康司 (財)地球環境戦略研究機関

## F3 環境評価と環境資源勘定(3) ◆第7教室(別館1階)

座長:小野宏哉(麗澤大学) 討論者:竹内憲司(神戸大学)

- 1 奄美大島の観光価値に関する経済評価分析  
○養 春暉・橋本介三 大阪大学

- 2 CVM調査に対する被験者の満足の回答への影響  
○加藤 尊秋／肥田野登 東京工業大学
- 3 表明選好法による自然生態系の評価  
三谷 羊平 早稲田大学
- 4 屋久島における年間観光客数と観光需要特性の推計—離島におけるより精度の高い推計方法—  
○柴崎 茂光 東京大学／坂田祐輔 鹿児島大学／永川 信 東京大学
- 5 顕示選好データによる遺産価値の計測可能性  
○奥山 忠裕・林山 泰久 東北大学

## G2 環境保全意識とライフスタイル(2) ◆第9教室(別館B1階)

座長:井村秀文(名古屋大学) 討論者:大江端江(関西学院大学)

- 1 グリーンコンシューマーの消費をめぐる価値意識—豊かになった東アジアの都市住民の意識調査から—  
○栗林 敦子 ニッセイ基礎研究所／青柳みどり 国立環境研究所
- 2 環境意識形成の要因分析—中・日の環境意識比較を例として—  
鄭 躍軍 統計数理研究所
- 3 一般市民の環境保全行動の促進要因についての日中比較  
○青柳みどり 国立環境研究所／栗林 敦子 ニッセイ基礎研究所
- 4 NRI生活者一万人アンケートにみる環境保護配慮製品を購入する消費者像  
植村 哲士 野村総合研究所
- 5 持続可能な消費社会構築のための廃棄物環境家計簿  
○高瀬 浩 二 鷺津 明由 早稲田大学

## C4 環境経営・環境会計・環境監査(4) ◆7演習室(本館1階)

座長:河野正男(横浜国立大学) 討論者:平山健次郎(地球環境戦略研究機関)

- 1 事例と国内外法制度の発展:生物多様性条約に基づく遺伝資源アクセスと利益配分(ABS)  
林 希 一郎 (株)三菱総合研究所
- 2 再生可能エネルギー義務証書の流通市場の現状と会計問題  
村井 秀樹 日本大学
- 3 韓国における環境会計の現状と課題  
朴 鍾敏 横浜国立大学
- 4 日本企業における環境会計情報システムの現状分析  
金藤 正直 横浜国立大学

## Q1 貿易と環境 ◆8演習室(本館1階)

座長:原嶋洋平(拓殖大学) 討論者:藤田康範(慶應大学)

- 1 環境政策における地球公共財概念の有効性  
野上 裕生 アジア経済研究所
- 2 小国開放経済における最適環境政策  
伊ヶ崎 大理 熊本学園大学
- 3 何故、自由貿易が世界を破壊するのか  
梶川 敦 名城大学
- 4 途上国における環境規制と南北貿易:環境汚染バラエティの考察  
道川 祝代 アジア経済研究所
- 5 自由貿易協定による韓国の農業部門に関する評価分析  
○羅 練珉・豊川 隆 東京農工大学

## R1 国際関係と環境 ◆9演習室(本館1階)

座長:横山 彰(中央大学) 討論者:佐藤 仁(東京大学)

- 1 国際森林管理レジーム形成と国際熱帯木材機関の役割  
藤原 敬 森林総合研究所
- 2 デイプロマトリ・サイエンスの構築:欧州酸性雨問題の科学アセスメントを題材として  
石井 敦 国立環境研究所
- 3 環境権の現代的意義:資源配分における非対称性  
藤堂 史明 新潟大学
- 4 国際機関の有効性に関する検討:国連砂漠化会議準備から地球サミット迄の砂漠化対策の事例からのインプリケーション  
貞田 康弘 神戸大学

- 5 国際環境レジームにおける科学アセスメントの学習プロセス;国際捕鯨委員会を事例として  
○大久保彩子 東京大学/石井 敦 国立環境研究所

## S1 英語セッション ◆10演習室(本館1階)

座長:松本泰子(国立環境研究所) 討論者:鈴木達治郎(電力中央研究所)

- 1 Social Capacity for Urban Air Quality Management: Framework for Capacity Building  
○Mushtaq Ahmed Memon Institute for Global Environmental Strategies/Hidefumi Imura Nagoya University
- 2 Strategy and Principles for Sustainable Product Development of Home Appliances  
○Sergio Jofre-Tohru Morioka 大阪大学
- 3 Assessment of the effect of food consumption and production in Thailand  
○Juraipom Kaewthip-Hiroyuki Kawashima The University of Tokyo/Junko shindo-Katsuo Okamoto  
National Institute of Agro-Environmental Sciences/Hideshige Toda Shinshu University/  
Keiji Ohga The University of Tokyo
- 4 Are Health Benefits of Air Pollution Controls in Bangkok Too High? Empirical Evidence from CV Survey  
on WTP for Mortality Risk Reduction  
○Sujitra Vassanadumrongdee-Shunji Matsuoka-Hiroaki Shirakawa Hiroshima University
- 5 Implementation Possibilities of Reverse Logistics and Technologies for Plastics Recovery in Hyogo Eco Town Project  
○Helmut Yahar-Tohru Morioka 大阪大学

---

## 9月28日午後の部

### 公開シンポジウム「環境税」 ◆第1教室(新館B1階)

<第1部 13:30~15:30> <第2部 15:45~17:00>

#### 第1部

基調講演「環境税とその導入をめぐる」 石弘光(一橋大学長)

討論者 天野明弘(地球環境戦略研究機関 関西研究センター所長)

奥野正寛(東京大学大学院 経済学研究科教授)

司会 後藤則行(東京大学大学院 総合文化研究科教授)

#### 第2部

討論会「環境税導入の政策的課題」

討論者 小林 光(環境省 大臣官房審議官)

岸本吉生(経済産業省産業技術環境局 環境経済室長)

司会 飯野靖四(慶應義塾大学 経済学部教授)

---

# アクセスマップ

